

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	Conversion surgery for initially unresectable pancreatic ductal adenocarcinoma
	研究目的	切除不能膵癌の治療は非外科的治療が基本となるが、近年 FOLFIRINOX や Gem/nabPTX などの効果的なレジメンを用いた集学的治療により Conversion surgery が行われ、その予後延長効果が報告されている。一方、その手術手技、周術期管理は難易度が極めて高い。今回我々は肝胆膵外科学会において当院での治療成績を発表する
	研究対象者	2015 年から 2019 年に当院で conversion surgery を施行された膵癌患者様
	研究期間	西暦 2020 年 1 月 22 日 ~ 西暦 2020 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	村川 正明
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし